

## 第 4 回 神戸圏域地域医療構想調整会議 地域包括ケア推進部会

1. 日 時 平成 30 年 8 月 8 日（水）13：30～15：30
2. 場 所 三宮研修センター
3. 出席者 別紙名簿のとおり

### 4. 議事内容

#### 【平成 31 年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に関する事業提案について】

- ・平成 30 年度提案事業の査定結果報告
- ・新規事業 10 件、過年度採択事業 15 件、合計 25 件の説明・意見聴取

#### 【4 専門部会の報告について】

- ・各専門部会の開催状況と主な意見について説明

### 5. 主な意見

#### 【平成 31 年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に関する事業提案について】

- 神戸在宅医療・介護推進財団からの提案について、神戸市の認知症の人にやさしいまちづくり条例をバックアップするという意味で良い事業だと思う。ただ、確定診断を受けた認知症高齢者が対象となっている。予防効果としては軽度認知障害の方が大きな効果が期待できるので、対象者に含められないか。
  - 軽度MC I にも効果があると聞いているので、幅広い方を対象に考えていきたい。
  - 作業療法士のみではなく、心理的サポートをする臨床心理士が大切なので、それも考えていただきたい。

#### 【4 専門部会の報告について】

- 医療介護連携に関する専門部会において ICT の活用を検討されているが、薬剤師会で広めようとしている電子お薬手帳 harmo を活用することも検討していただきたい。
  - 在宅療養者の服薬管理に関する専門部会の中で電子お薬手帳 harmo において医療情報を共有できるかということを検討していきたい。

#### 【その他】

- 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築の必要性が言われているが、神戸市の今後の見通しを聞きたい。
  - 医療介護サポートセンターでは精神障害者の患者に関する相談にも応じることができると、神戸市で 14 箇所設置している生活支援センターの中で精神障害者対応のできるセンターがいくつあるのか、という議論も出ている。また、外来、通院を中断した精神障害者が多いということもあり、議論する必要がある。
- 兵庫県の地域リハビリテーションシステムを進めており、介護予防日常生活支援総合事業のリハビリテーション専門職が育ってきている。兵庫県と神戸市との連携をさらに進めた

いと考えている。

→神戸市リハ職種地域支援協議会でも研修をして地域活動支援者の人数を増やしているため、さらに進んでいくと思う。